

宜野湾市長選挙、岩国市長選挙で示した基地強化・艦載機移駐ノーの声 安倍政権の暴走許すなをさらに広げよう



1月24日投票の沖縄県宜野湾市長選挙では「オール沖縄・オール宜野湾：のシムラ候補が、自公政権の全面支援を受けた現職に善戦・健闘をしました。

同時に行われた岩国市長選挙では、岩国市長選挙史上初めて基地関連の市民運動5団体が共同してたたかい、姫野あつこ候補が、14820票・得票率27.5%を獲得し善戦しました。

日本共産党は、市民共同の発展のために献身するとともに、「住民投票を力にする会」を中心に全

力投球しました。告示日の出発式には大平喜信衆議院議員が激励に駆けつけて挨拶、選挙中日には春名なおあき参院比例予定候補が激励に駆けつけて姫野あつこ市長候補と一緒にマイクを握りました。日本共産党は、この選挙結果を踏まえて、艦載機移駐ストップをはじめ安倍政権の暴走許すなをたたかひの先頭にたつ決意を固めています。(写真は1月21日、左から春名氏、姫野候補、松田一志参院選挙区予定候補)

春名候補 鳥取で漁協組合長、森林組合長と懇談

1月20日に鳥取県入りした春名なおあき参院比例予定候補は、錦織陽子鳥取県議、青亀壽宏琴浦町議、大森正治大山町議とともに赤崎漁協組合長、大山森林組合長と懇談しました。

両組合長とも、国民の食糧と地域を支える仕事にたいする誇りを語るとともに、「TPPはその苦勞を台無しにするもので、許すわけにはいかない」、「農林水産はGDPのごくわずか、工業のために犠牲にしてもかまわないという考えだ」と怒りを露わにしています。

春名候補は、「安倍政権の暴走は、国民生活のあらゆる分野に及んでいる。暴走ストップに全力を上げましょう」と話しています。



大平衆議院議員、国会論戦に挑む準備に

1月22日に安倍総理の施政方針演説をはじめ政府4演説が行われ、この27日は衆議院で志位和夫委員長が、28日には参議院で山下芳生書記局長が代表質問を行います。

中国ブロックの大平喜信衆議院議員は、2月上旬の予算委員会で質問に立つ予定で、質問準備に大忙しです。日程は決まり次第お知らせします。